

レッスンを受けることになった。そんなうまいわけでもなかったはずだが、その年のクリスマスコンサートで、全校生徒・職員の前で、合唱団をバックに黒人霊歌を歌いデビュー、その後、学校の合唱団と共にヨーロッパのコンサートツアーで歌い、BBCでもソロをつとめたシューベルトのミサ曲が放送された。とにかく、何かできるということになると、どんな次の高い目標をやってみると持ちかけられ、短期間の内に思ってもみなかったようなところまで行ってしまうのである。

❖思い出に残る人々

休暇中は、ルームメイトらのつてを頼って、ヨーロッパを旅して回る。着いた年の冬休み、バルセロナの友人宅に行く約束で、パリでスペイン行きの列車に乗る手筈だったのが、乗り遅れてしまい、通りがかりの親切な夫婦に泊めてもらおうという顛末になった。スペインの後、移動したイタリアでは、ミラノのルームメイトの家でもっているスカラ座の栈敷で売り出し中だったブラシド・ドミンゴを聴くという贅沢をさせてもらい、クリスマス後にはローマ近郊の村で日本人を見るのは初めてという村の人たちの家によばれ歓待してもらった。大ピアノリスト、ルービンシュタインが夫

妻で一週間学校に滞在したこともある。小柄なお洒落なお爺さんでいつもニコニコしていたが、最後に学校内のホールで演奏会を開いてくれた。最前列で聴いていた私は、最後の「英雄ポロネーズ」で手が一際高くながったかと思うと同時に響き渡った素晴らしいフォルテを鮮明に覚えている。

❖卒業して後

AC卒業後、米国に移り、文化の多様性より、普遍的な価値に関心が向かい専門を文化人類学から哲学に転向した。大学卒業後、当時、外国大学の卒業生を受け入れていた三菱商事に入った。総合商社は、種々の異なった仕事を内包している。シンガポールで、電子部品の製造工場に出向し上場を目指したこともあるし、フランスの地方都市で労働組合と半年間、交渉を重ねたこともある。ネットバブルに沸くシリコンバレーで、ベンチャー投資を手がけ、大型M&Aにも携わった。全て、ACに行ったことからスタートした精神の運動の延長にある。もっとも、現在の私も企業の管理職として、かつてのように毎日のルーティーン of 罫に嵌っているのかもしれない。現在の枠組みに捉えられてはいけない。次の転換を目指してジャンプしなければ。フリー・ユア・マインド。精神を解き放て。

中央公論

12月号

発売中! 定価800円(税込)

〒104-8320 東京・京橋2-8-7 中央公論新社
TEL 03-3563-1431

一億総クレーマー社会

日本人が共同体からの利益を捨てるまで
追い詰める親、追い詰められる学校
暴走する“患者さま”

歪んだ「法令遵守」がクレーマーを大量生産する 郷原信郎
時津風部屋問題から何を学ぶか 中島隆信

〈特集〉漂流する日本政治 国家の信用はコンビニ以下だ 舛添要一 ほか
戦争回避の機会二度潰えた 細谷千博×佐藤元英

インテリジェンスを読み解く30冊 手嶋龍一×佐藤優

フリー・ユア・マインド (精神を解き放て)

一九七六年UWC英国アトランティック
クレッジ(A.C)卒。八〇年ハーバ
ード大哲学科卒。三菱商事入社。八七年
スタンフォード・ビジネススクール卒。
業務部、情報産業グループ等を経て現職。

三菱商事メディア・コマース事業ユニットマネージャー



山本哲也
やまもと てつや

別世界への旅立ち

一九九九年公開の映画「マトリックス」を
ご存じだろうか。今までこれが現実だと
信じさせられていた日常が仮想現実には
ないことが判明し、意識のどこかで抱
いていた願望が現実と反転、更に予想を
超えた世界が次々に展開していく。私にと
ってA.C体験は正にこの転換点だった。三
三年前、地方の高校生だった私は、これ
から本格化しそうな受験勉強とその先に
待っている進学、就職の予想に倦んで
いた。その合間に、本多勝一の「極限の
民族」を読んだり、学園祭でミュージカ
ルの真似事を上演したりして外国への
憧れを募らせていたところ、突然A.C
の奨学生募集の案内が来た。初めて乗
る飛行機から明け方のロンドンを目に
した時、新しい世界が開けていく大き
きな解放感に包まれた。

何ともやりなさい

新学期が始まる前に、ファーストイ
ヤー・キャンプという行事があり、各
国からきた新入生が先生と上級生に連
れられ、一週間キャンプ生活を送る。
着いたばかりで英語もほとんど話
せない中、初めて実際に接するさま
ざまな国の人たちに会い、テント設
営、ハイキング、炊事と共同作業を
こなしていく。最初は顔の識別も難
しかったのが、段々と性格らしきも
のも分かったり個人の様相を帯びて
くる。

学校に戻ってくると、教科の選
択が待っている。国際バカロレアの
制度は、数学、社会科学、芸術、外
国語、母国語といった分野から、
ハイアーレベル三科目、スタンダ
ードレベル三科目を選択するよう
になっている。ハイアーレベルは
大学の教養課程の水準だ。迷わず
以前から興味のある

●(社)ユナイテッド・ワールド・カレッジ(UWC)日本協会は、世界各国から派遣されてくる生徒たちとの教育体験の共有により、国際感覚豊かな人材を養成するという理念を掲げるUWCの日本委員会として、毎年一〇名前後の高校二年生を世界各地にあるUWC傘下の高校に派遣し、すでに四一七名の卒業生を輩出している。

った文化人類学、人文地理学、環境学の履修を決めた。文化人類学の授業では、毎週、民族誌か理論的論文を読みレポートを提出、これを基に授業では先生の講義と学生間の討論が続くのだが、学生の国籍がさまざまで、先生が説明しても学生が即座に自分の国ではそうならないと反論するという具合で面白かった。地理、環境学の授業では地図を片手に近くの山野、海岸、村々へフィールドワークに度々出かけ、イギリス人の実践の学としての地理学の成り立ちが良く分かった。

課外活動では、声を出すことが好きだったので合唱団に入ることにしたのだが、ある日、種々の楽器のレッスン案内に並んで、歌唱レッスンの案内が掲示板にあるのを見た。恐る恐る音楽の先生に聞いてみる。「楽器は何かできる? 楽譜は? 駄目?」それでは、手で拍子を叩くから、そのままやってみてください。はい。ピアノで弾く通り歌ってみて。はい、結構」。こういうやり取りがあつて、翌週から、ウエールズ国立オペラを引退したバリトン歌手の個人